

公益財団法人仁科記念財団
令和 5 年度（2023 年度）事業報告書

仁科記念財団は、故仁科芳雄博士のわが国及び世界の学術文化に対する功績を記念し、定款第 4 条に掲げられている通り、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において次の公益目的事業を行う。(1) きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与 (2) 著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催 (3) 歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営 (4) 知識および思想を普及啓発するための出版物刊行などの活動 (5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成。

1. 令和 5 年度（2023 年度）に行った公益目的事業

(1) きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与

■第 69 回仁科記念賞

仁科記念賞は、広い意味の原子物理学およびその応用に関して傑出した業績をあげた日本の研究者に授けられる賞で、当財団創設の昭和 30 年（1955 年）以来、毎年数名の研究者に授与されてきた。

これまでの受賞者の総数は 200 名（本年度の 1 名を含む）となり、その中からは、その後国内外での著名な賞に輝いた受賞者が多く、研究者社会において仁科記念賞の価値と名誉は広く認められている。たとえば、ノーベル物理学賞受賞者 6 名（江崎玲於奈氏、小林誠氏、益川敏英氏、小柴昌俊氏、中村修二氏、梶田隆章氏）、文化勲章受章者 14 名、恩賜賞受賞者 10 名、日本学士院賞受賞者 33 名となっている。

仁科記念賞規程では、① 6 月 1 日から 8 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページ(HP)、日本物理学会誌、応用物理学会誌等に、仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募し ② 授賞件数は 3 件以内 ③ 選考は選考委員会で行い受賞者には、賞状、賞牌と 1 件当たり 60 万円の副賞を授ける ④ 選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に公表 ⑤ 授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の 12 月 6 日、あるいはそれに近い日にこれまでの受賞者を含めた研究交流の懇談会の場で行うとしている。

本年度第 69 回仁科記念賞もこの規程の通り選考が行われた。選考委員会（安藤恒也委員長他 14 名）は、今年度推薦のあった 19 件の候補についてオンライン会議で慎重に審議したのち、次の 1 件（1 名）に授与することに決定した。

1) 業績題目：「ニュートリノ振動における CP 非保存位相角 δ への制限」

受 賞 者：市川温子

東北大学大学院理学研究科・教授

この結果は令和 5 年 10 月 19 日に開催された第 44 回理事会（オンライン会議）で承認され、11 月 7 日に日本アイソトープ協会第 3 会議室にて新聞発表を行った。受賞記事は、当財団 HP に加えて、Association of Asia Pacific Physical Societies (AAPPS) の Bulletin にも公開された。

本年度の授賞式は、12 月 8 日に学士会館にて、受賞者 1 名と同伴者、理事長、常務理事、選考委員長、評議員会会長ほか財団関係者に加え、仁科記念講演会講師、これまでの受賞者と同伴者、寄附者、報道関係者が参加して行われた。最初に、梶田理事長から本年度の財団の活動報告があったあと、安藤恒也選考委員長からの選考過程の説明があり、続いて理事長から受賞者の市川温子教授へ賞状と賞牌が贈呈された。授賞式は、市川教授の受賞挨拶で終了し、小谷元子評議員の乾杯の挨拶で懇親会が開かれた。

■Nishina Asia Award（仁科アジア賞）

当財団は、平成 24 年度(2012 年度)に、アジアの若手研究者を鼓舞激励するために Nishina Asia Award（仁科アジア賞）を創設し、2021 年度までには 10 回計 10 人の受賞者を数えるに至ったが、2022 年 10 月 27 日に開催された第 40 回理事会において「昨今のアジア諸国における基礎物理学振興の高まりに鑑み、Nishina Asia Award の本来の使命は全うされたと判断されることから、第 11 回以降の Nishina Asia Award は廃止する」ことにしたため、2022 年度以降の仁科アジア賞の募集は行っていない。

（2）著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催

■第 69 回定例仁科記念講演会

仁科記念講演会は当財団創立以来の重要な事業で、社会に基礎物理学とその応用の真髄を会得していただくため、毎年一般の参加を得て開催されてきている。

本年度は、以下のように第 69 回定例仁科記念講演会「巨大ブラックホール撮像とデータサイエンス」が開催された。

日 時：令和 5 年 12 月 8 日（金）15:00～17:00

場 所：東京大学本郷キャンパス理学部 4 号館 1220 号講義室
YouTube にてライブ配信）

主 催：公益財団法人仁科記念財団

共 催：東京大学理学部物理学教室

後 援：公益社団法人日本アイソトープ協会
（プログラム）

挨 拶：梶田隆章 仁科記念財団 理事長

司 会：早野龍五 仁科記念財団 常務理事（総合司会）

須藤 靖 仁科記念財団理事 東京大学大学院理学系研究科教授

講演：「イベントホライズンテレスコープが見た銀河中心巨大ブラックホール」

本間希樹 国立天文台水沢 VLBI 観測所 教授

講演：「データサイエンスが切り拓く天文学の未来」

池田思朗 統計数理研究所 教授

参加者：約 50 名（会場）、約 200 名（オンライン）

当財団 HP にてポスター、スライド集を公開している。

（3）仁科記念室史料の保管・整理・公開

仁科記念室の歴史的に貴重な資料・図書などの保管・整理・公開を行った。関連諸機関とも協力して史料の整理を進めるとともに、写真・書簡・論文等史料を電子化して当財団ホームページの「仁科芳雄デジタル記念館」で逐次公開した。

・2024 年 1 月 15 日～1 月 30 日「理研板橋分所展」（主催：板橋区教育委員会）が板橋区立中央図書館で開催され、仁科記念財団は「特別協力者」として参画した。理研板橋分所には、仁科研究室の宇宙線グループの研究室があった。

・2024 年 2 月 19 日 22:00～22:45 に NHK「映像の世紀バタフライエフェクト ～マンハッタン計画～」が放映された。番組では「仁科博士の顔写真」と「欧州留学中の同僚との写真」が紹介され、エンドロールに資料提供：仁科記念財団とクレジットが入った。

（4）知識および思想を普及啓発するための出版物刊行

本年度も、仁科記念講演会の講演記録に加え、当財団がこれまで刊行してきた出版物を電子化して HP の「仁科芳雄デジタル記念館」と「出版および史料研究調査」に順次公開した。

刊行物としては、例年通り、2023 年版仁科記念財団案内（2023 年 6 月）を刊行した。これまでの「財団案内」は、すべて HP で閲覧、ダウンロードできる。

（5）優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成

新型コロナウイルス禍のために延期されてきた 2022 年度（第 10 回）仁科アジア賞（Nishina Asia Award）の授賞式と講演会が、2023 年 8 月 28 日東京大学理学部 4 号館 1220 号室において開催された 主催：仁科記念財団、共催：東京大学物理学教室。梶田隆章理事長の挨拶、佐々木節仁科アジア賞選考委員長の選考経過の紹介に続いて、理事長から、受賞者の Prof. Suvrat Raju, International Center for Theoretical Sciences Tata Institute of Fundamental Research, Bengaluru, India にメダルと賞状の付いた両開きの賞牌が手渡され、続いて受賞講演「Holography of Information, gravitational constraints and black-hole evaporation」があった。司会は受賞者の来日に労を取った磯崎高エネルギー加速器研究機構教授とこのセミナーを企画した松尾泰東京大学大学院理学系研究科物理学教室教授。

2. 賛助会員および特別寄附

- ・本年度の賛助会員数は4法人（科研製薬株式会社、鹿島建設株式会社、キッコーマン株式会社、住友化学株式会社）。
- ・公益社団法人日本アイソトープ協会から一昨年度に続き寄附金を頂戴した。
- ・公益財団法人科学振興仁科財団（岡山県里庄町）から昨年度に続き寄附金を頂戴した。

3. 物故

- ・顧問、江澤洋氏が、2023年9月10日に逝去された。享年91歳。
- ・助言委員、矢崎裕二氏が、2023年12月13日に逝去された。享年83歳。
- ・助言委員、原康夫氏が、2024年2月13日に逝去された。享年90歳。

4. 会議

本年度開催した評議員会、理事会、選考委員会、運営会議・運営諮問委員会の開催日時、出席者、議事は以下の通り。第3回と第8回の運営会議・運営諮問委員会は対面とオンライン併用でのハイブリッドで行ったが、それ以外の運営会議・運営諮問委員会、評議員会、理事会はすべてオンラインで開催した。なお、評議員会と理事会の議事録は、HPに公示している。

(1) 評議員会

1) 第13回（定時）

日時：令和5年6月5日 13:00～14:00

出席評議員：秋光純、有本建男、京藤倫久、九後太一、齋藤軍治、佐藤勝彦、高橋真理子、山田作衛（会長）、吉田庄一郎

欠席評議員：江澤洋、郷通子

出席監事：荒船次郎

出席理事：小林誠理事長、矢野安重常務理事

出席事務局長：松林孝昭

議事：①令和4年度事業報告書および決算書が承認された。

②次期評議員（任期は4年後の定時評議員会終了時まで）として、永宮正治理事、小谷元子東北大学理事・副学長、中村道治科学技術振興機構顧問を新任、秋光純評議員、有本建男評議員、京藤倫久評議員、九後太一評議員、齋藤軍治評議員、佐藤勝彦評議員、高橋真理子評議員、山田作衛評議員を重任とする案が了承された。

③次期理事（任期は2年後の定時評議員会終了時まで）として、須藤靖運営諮問委員、初田哲男運営諮問委員、早野龍五運営諮問委員長を新任、安藤恒也理事、家泰弘常務理事、上蓑義朋理事、梶田隆章理事、佐々木節理事、十倉好紀理事、藤川和男常務理事、矢野安重常務理事を重任とし、次期監事（任期は2

年後の定時評議員会終了時まで)として伊藤公孝理事を新任、荒船次郎監事を重任とする案が了承された。

④会計監査人(任期は1年後の定時評議員会終了時まで)として宮田芳直氏を重任とする案が了承された。

(2) 理事会

1) 第42回

日時：令和5年5月16日 17:30~18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、上菴義朋、梶田隆章、小林誠、佐々木節、永宮正治、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎

出席事務局長：松林孝昭

議事：①小林誠理事長より、令和4年度事業報告書案および決算書案の説明があり、審議の結果、全出席理事異議なく原案を第13回定時評議員会に諮ることが承認された。

②小林理事長より、第13回定時評議員会に本理事会から推薦する次期評議員、理事、監事、会計監査人の候補案が以下の通り提示され、審議の結果、全出席理事異議なく原案通り承認された。候補者案は、次期評議員(任期は4年後の定時評議員会終了時まで)として、永宮正治理事、小谷元子東北大学理事・副学長、中村道治科学技術振興機構顧問を新任、秋光純評議員、有本建男評議員、京藤倫久評議員、九後太一評議員、齋藤軍治評議員、佐藤勝彦評議員、高橋真理子評議員、山田作衛評議員を重任、また、次期理事(任期は2年後の定時評議員会終了時まで)として、須藤靖運営諮問委員、初田哲男運営諮問委員、早野龍五運営諮問委員長を新任、安藤恒也理事、家泰弘常務理事、上菴義朋理事、梶田隆章理事、佐々木節理事、十倉好紀理事、藤川和男常務理事、矢野安重常務理事を重任、次期監事(任期は2年後の定時評議員会終了時まで)として伊藤公孝理事を新任、荒船次郎監事を重任、会計監査人(任期は1年後の定時評議員会終了時まで)として宮田芳直氏を重任。

③小林理事長より、第13回定時評議員会を令和5年6月5日13:00よりオンラインにて開催したい旨提案があり、全出席理事異議なく承認された。

④小林理事長より、次期運営諮問委員候補として村尾美緒・東京大学大学院理学系研究科物理学専攻物理学教授、中畑雅行・東京大学宇宙線研究所所長、藤澤彰英・九州大学応用力学研究所核融合力学部門主幹教授、森初果・東京大学物性研究所教授、松尾由賀利・法政大学理工学部創生科学科教授を新任候補とし、櫻井博儀、永長直人前運営諮問委員を重任候補としたい旨、提案があり

全出席理事異議なく承認された。また、永長直人運営諮問委員を委員長候補とすることが承認された。

2) 第 43 回

日時：令和 5 年 6 月 6 日 18：30～19：00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、上養義朋、梶田隆章、佐々木節、須藤靖、十倉好紀、
初田哲男、早野龍五、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

出席事務局長：松林孝昭

議事：①出席理事から選出された安藤恒也議長より、梶田隆章理事を代表理事（理事長）としたい旨提案があり、全出席理事異議なく承認された。

②議長より、早野龍五理事、藤川和男理事、矢野安重理事を、それぞれ、仁科記念講演会、仁科記念賞、総務担当の業務執行理事（常務理事）としたい旨提案があり、全出席理事異議なく承認された。

③議長より、矢野安重常務理事を常勤とし、定款第 28 条第 3 項の「理事長に事故あるときまたは理事長が欠けたときは、評議員会および理事会招集ならびに理事会議長の職務を代行する」常務理事としたい旨提案があり、全出席理事異議なく承認された。

④議長より、運営諮問委員として村尾美緒・東京大学大学院理学系研究科物理学専攻物理学教授、中畑雅行・東京大学宇宙線研究所所長、藤澤彰英・九州大学応用力学研究所核融合力学部門主幹教授、森初果・東京大学物性研究所教授、松尾由賀利・法政大学理工学部創生科学科教授を新任し、櫻井博儀、永長直人前運営諮問委員を重任したい旨、提案があり全出席理事異議なく承認された。また、永長直人運営諮問委員を委員長とすることが承認された。

⑤議長より、顧問を江崎玲於奈、野依良治両先生に加えて、新たに小林誠、鈴木増雄、西村純、山崎敏光、江澤洋先生にお願いしたい、また、助言委員を、西村純、秋元勇巳、飯島澄男、岩田末廣、延與秀人、岡本拓司、勝又紘一、岸輝雄、木舟正、小林俊一、三田一郎、斯波弘行、壽榮松宏仁、菅原寛孝、杉本大一郎、土屋莊次、中井浩二、並木雅俊、野本憲一、橋本英二、原康夫、堀内昶、政池明、茂木友三郎、矢崎紘一、矢崎裕二、和田昭允前助言委員にお願いしたい、さらに、西村純先生には助言委員会委員長をお願いしたい旨提案があり全出席理事異議なく承認された。

3) 第 44 回

日時：令和 5 年 10 月 19 日 17：30～18：00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、上叢義朋、梶田隆章、佐々木節、初田哲男、早野龍五、
藤川和男、矢野安重

欠席理事：十倉好紀

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

出席選考委員長：安藤恒也委員長

出席事務局長：松林孝昭

報告：議案審議に先立って、定款第 28 条第 4 項に則り、梶田隆章理事長、早野龍五常務理事、藤川和男常務理事、矢野安重常務理事より、本年度上半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

議事：①令和 5 年度（第 69 回）仁科記念賞を決定した。

4) 第 45 回

日時：令和 6 年 3 月 11 日 17:30～18:30

出席理事：安藤恒也、家泰弘、上叢義朋、梶田隆章、佐々木節、須藤靖、
十倉好紀、早野龍五、藤川和男、矢野安重

欠席理事：初田哲男

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

出席事務局長：松林孝昭

報告：議案審議に先立って、定款第 28 条第 4 項に則り、梶田隆章理事長、早野龍五常務理事、藤川和男常務理事、矢野安重常務理事より、本年度下半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

議事：①令和 6 年度（2024 年度）事業計画書および収支予算書案を承認した。

②梶田理事長より、2024 年度事業計画を遂行するにあたり、特定資産を 640 万円取り崩したい旨提案があった。家理事より、実際には特定資産の取り崩し額が 640 万円に達しない場合もあるのではないかとの意見があり、梶田理事長から予算案に記された 640 万円の取り崩しは上限と考えることを明確にすべきかとの発言があった。種々の議論の後、実質的に上限であることは認識されているとして、本件は提案の通り承認された。

③梶田理事長より、次期仁科記念賞選考委員（任期：2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月末日まで）として、安藤恒也委員長および現委員 7 名を重任とし、

新たに7名を選任したい旨提案があり、審議の結果、全出席理事異議なく原案通り承認された。

④梶田理事長より、仁科記念賞規程の第5条第3項を「選考委員は、候補者を推薦することができない。また、推薦された候補者の協力者である場合、その他特別の利害関係がある場合には、当該候補者の審議及び議決に加わることができない」（下線部分を追加）と改正したい旨提案があり、審議の結果、全出席理事異議なく承認された。

⑤梶田理事長より「2024年度には資金調達及び設備投資の予定はない」旨報告があり、全出席理事が了承した。

⑥梶田理事長より「定款第48条第2項により、松林孝昭氏を、経理を主たる業務とする事務局長（原則週2日勤務）として重任したい」旨提案があり全出席理事が承認した。

(3) 仁科記念賞選考委員会

1) 第1回

日時：令和5年9月25日 17:00～21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：梶田隆章理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

2) 第2回

日時：令和5年10月11日 17:00～21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：梶田隆章理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

議題；①令和5年度仁科記念賞受賞者の選考委員会案を決定した。

(4) 運営会議・運営諮問委員会

1) 第1回

日時：令和5年4月25日（火）17:30～19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、櫻井博儀、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、伊藤公孝、
上養義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①2022 年度事業報告書および決算書案について：了承 ②12 月 8 日に、仁科記念賞授賞式を行うことについて：了承 ③2023 年度の仁科記念講演会の企画について：継続審議 ④「仁科記念室」の運営について：継続審議

2) 第 2 回

日時：令和 5 年 5 月 16 日 18:00～19:30

出席委員：早野龍五委員長、櫻井博儀、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、伊藤公孝、
上養義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：秋光純、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①2023 年度の仁科記念講演会の企画について：継続審議 ②「仁科記念室」
の運営について：継続審議

3) 第 3 回

日時：令和 5 年 6 月 26 日 17:30～18:00

場所：日本アイソトープ協会第 3 会議室

形式：ハイブリッド（Zoom によるオンライン出席を併用）

出席委員：永長直人委員長、中畑雅行、藤澤彰英、松尾由賀利、村尾美緒、森初果

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
家泰弘、上養義朋、須藤靖、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：秋光純、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

会に先立って、梶田隆章新理事長の就任挨拶に続いて、出席した運営会議メンバーと松林孝昭事務局長から挨拶があった。

議題：① 2023 年度の仁科記念講演会の企画について：継続審議 ②「仁科記念室」
の運営について：継続審議

4) 第 4 回

日時：令和 5 年 7 月 25 日 17:30～19:30

出席委員：永長直人委員長、藤澤彰英、松尾由賀利、森初果

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
家泰弘、上養義朋、須藤靖、初田哲男

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：秋光純、永宮正治、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

報告：① 7月19日、法務局から新役員等の「登記簿謄本」が届き、役員等変更の内閣府への申請が完了した。

議題：①2023年度の仁科記念講演会の企画について：担当者、ポスター、宣伝など
②「仁科記念室」の運営について：継続審議 ③定款の改定について：継続審議

5) 第5回

日時：令和5年9月28日 17:30～19:30

出席委員：永長直人委員長、櫻井博儀、中畑雅行、藤澤彰英、松尾由賀利

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
家泰弘、上蓑義朋、佐々木節、須藤靖、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：秋光純、永宮正治、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①2023年度の仁科記念講演会の企画について：早野常務理事が提案した、本間希樹、池田思朗両教授に講師を依頼することにした。企画担当は須藤理事。
②「仁科記念室」の運営について：継続審議 ③定款の改定について：継続審議
④第8回、第9回NAA受賞者の講演会について：継続審議 ⑤伊藤憲二氏著「励起」を購入して配布するかどうか：出版販売が好調なので取りやめる。

6) 第6回

日時：令和5年10月19日 18:00～19:30

出席委員：永長直人委員長、櫻井博儀、中畑雅行、藤澤彰英、松尾由賀利

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
家泰弘、上蓑義朋、佐々木節、初田哲男

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：永宮正治、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①2023年度の仁科記念講演会について（当日のYouTube配信と集客）：須藤理事が村尾運営諮問委委員に依頼。 ②第8回、第9回NAA受賞者講演の担

当者について：継続審議 ③仁科史料についての理研との協定について：継続審議

7) 第7回

日時：令和5年12月23日 17:30～19:30

出席委員：永長直人委員長、櫻井博儀、藤澤彰英

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
家泰弘、上菴義朋、佐々木節、須藤靖、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：秋光純、永宮正治、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①2024年1月15日～1月30日に板橋区教育委員会が開催する展覧会（仁科研究室板橋分室が登場する）に＜仁科記念財団＞が特別協力する件について：矢野常務理事より概要説明があり、仁科記念財団が「特別協力者」として板橋区教育委員会が作成するパンフレット等に記載されることが承認された。
②第8回 W. Yao、第9回 Y. Jing NAA 受賞者による＜講演開催の担当者＞について：永長運営諮問委員長が担当。 ③来年度の仁科記念賞授賞式を、
1) 12月6日（金）に学士会館にて今年度と同様な形式＜着席テーブルあり＞で開催することについて：立食形式とする 2)＜受賞者の希望する招待者＞を何名か招待することについて：藤川常務理事の提案の通り、今後の授賞式では、受賞者の親族の他に、受賞者が招待を希望する者（受賞1件あたり3名程度以内）を招待することとした ④仁科史料についての理研との協定について：早野常務理事より、当財団が理研に寄贈した「仁科芳雄博士の史料」の法的位置づけについて、知人の専門家の意見が披露され、それに基づく理研との「仁科芳雄博士の史料に関する協定書」の内容の案が示された。今後さらに継続して審議。

8) 第8回

日時：令和6年1月30日 17:30～18:00

出席委員：永長直人委員長、中畑雅行、藤澤彰英、松尾由賀利、村尾美緒

出席理事：梶田隆章理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
家泰弘、佐々木節、須藤靖、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：秋光純、永宮正治、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：理事会からの報告事項のみ

9) 第 9 回

日時：令和 6 年 2 月 15 日 17:30~19:30

出席委員：永長直人委員長、中畑雅行、藤澤彰英、松尾由賀利、村尾美緒

出席理事：梶田隆章理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、

家泰弘、佐々木節、須藤靖、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：秋光純、永宮正治、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①令和 6 年度（2024 年度）事業計画書（案）及び 収支予算書（案）について ②特定資産の取り崩し（取り崩し額は収支予算書に記載）について：今後、「重大な危機感をもって、寄附と賛助会員数拡大に努力する必要があること」を確認した。③「仁科記念賞規程」の改正について：理事長より提案があり、仁科記念賞規程第 5 条第 3 項の冒頭に「選考委員は、候補者を推薦することができない」を加えることとした。④仁科記念賞授賞式の式次第について：藤川常務理事 より「仁科記念賞授賞式式次第」について提案があり、1) 理事長挨拶からメダル授与までは、仁科記念賞担当常務理事が司会し、乾杯の挨拶から祝賀会は、講演会担当理事が司会し、閉会は総務担当理事が行う。2) 受賞者は希望により、同伴者（または家族）以外で 3 名までの関係者を招待することができる（但し、受賞 1 件あたり 3 名程度以内）3) 祝賀会は立食形式を基本とする。4) 授賞式会場は、予約の都合上、5 月末までに運営会議で決める、こととした。⑤仁科記念賞賞状の「君付け」について：調査によると「殿」が一般的であった。⑥「仁科記念室史料に関する財団と理研の協定」の進捗状況について：早野常務理事から「2019 年 9 月 18 日付の理研への『寄附申込書』（小林理事長印あり。寄附物品内容証明書付き）には、『尚、寄附した物品の活用方法等は、国立研究開発法人理化学研究所に一任致します。』という付帯条件が記されているので、協定書・覚書作成には、この条件を踏まえたうえで、当財団側の計画に支障がないよう（矢野常務理事が仁科記念室史料担当から離れることを前提に）作成する必要がある。」と報告があった。また、矢野常務理事から「寄附申込書」に付属の「寄附物品内容証明書」には記載されていない「仁科記念室史料」のリストが第 9 回運営会議・運営諮問委員会に示された。

本事業報告書には、以上のほか記述すべきことはありません。